



シリーズ

追跡指令

気になる！一般質問等のその後！！

今回の指令

学校ICT整備のその後を追跡せよ！！



本市は、昨年、学校通信ネットワークの整備工事や市内小・中学校の児童・生徒1人1台のタブレットの配備など、ICT機器を活用した学習環境の更なる充実を図った。コロナ禍の中、オンライン授業などICT機器の活用はどうなっているのか。今回は、「市内小・中学校のICT整備について」のその後を追跡し、報告せよ！！

小・中学校のICT活用に関する追跡調査報告書

平成27年からICT機器の整備を開始した本市は設備の整備と並行し、同年、学校教育研究会に「ICT研究部会」を発足されました。授業で活用するソフトの研究や研究授業・教職員研修会の開催など、ICTの活用について幅広く検討をされています。

令和2年度にはコロナウイルス対策に伴う国の補正予算により、児童・生徒1人1台のタブレットの配備を完了し、本年度から各学校で授業にも活用されており、9月からは、タブレットの持ち帰りやオンライン授業の準備も進められています。



▲タブレットや液晶モニターを活用した授業（河浦小）



▲ICTを活用した授業の準備をする教諭

備も進められています。

また、令和3年第6回定例会では小・中学校の全クラスに液晶モニターを配備するための予算が可決されました。これまで、スクリーンを使用していた学校では、カーテンを閉める必要がありましたが、換気をしながら、明るい状態で授業を受けられます。

ICTの活用は、多くの可能性も秘めており、コロナ禍の中、ますますの活用が期待されます。

編集後記

2020年1月に日本で最初のコロナウイルス感染者が確認されてから、不要不急の外出自粛や行事・イベント等の中止などにより、日常生活に大きな影響を及ぼしています。

これにより、広報広聴委員会による議会だより制作でも、表紙の題材選定に苦労しており、締め切り間近まで決まらない状況が続いています。

9月末時点で日本の全人口の60%を超える方が2回目のワクチン接種が終わりでしたが、2回接種しても抗体低下による感染（ブレイクスルー）も増加しており、国は3回目の追加接種を実施する方針を決めました。

これから本格的な冬を迎えるにあたり、今できることは、これまで同様にマスク着用とこまめな手洗い、うがい徹底することしかありません。一日でも早く、通常に近い経済社会活動ができる日常が戻ることを願うばかりです。

（門口 徹）

広報広聴委員会

- | | | |
|-------|--------------|-------------|
| | | |
| 宮下幸一郎 | 副委員長
五通俊作 | 委員長
蓮池良正 |
| | | |
| 門口 徹 | 柴田 誠 | 下田昇一郎 |